



体長1メートル マンボウ捕獲

高砂の漁師 地域の子ども大喜び
高谷さん

加古川市の別府港沖で、高砂市高須の漁師高谷繁喜さん（66）がこのほど、体長約1メートルのマンボウを捕獲した。「漁師を50年やっていて初めてかかった」と驚く。同市の伊保漁協の水槽に入れられ、ぎよろりとした目やさらさらした肌で、地域の子どもたちが大喜びしている。

高谷さんによると、マンボウは1日午前の船引き網にかかっていた。須磨海浜水族園（神戸市）などに知らせたところ、体表は傷つきやすく、飼育が難しいという。東北地方などで食用とされて

いるが、調理は簡単でないといいい、引き取り手もないことから、近く海に返すことを決めた。

県水産技術センター（明石市）によると、暖かい外洋に住む魚で、播磨灘に入ってくることは珍しいが、たまに見つかるともあるという。担当者は「温暖化の影響とは一概に言えない。潮の流れに乗ってきたのかも」と話した。（安藤文暁）

「ザラツとして」「意外とかわいい」。珍客のマンボウに大喜びの子どもたち

高砂市高須、伊保漁協

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① マンボウを見て子どもたちが喜んでるのはなぜですか？ 理由を書きましょう。

② マンボウはどんな魚ですか？ 水族園や県水産技術センターの人の話から分かる部分に線を引きましょう。

③ この記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

学びポイント！
マンボウはどんな形をしているか、知っていますか？ 図鑑で調べたりして、かくにんしてみましよう。

学校名() 年()
名前()